

足利赤十字病院 脳神経内科

病院概要

足利赤十字病院は栃木県足利市にある、両毛医療圏の中核病院です。現在の開設者は日本赤十字社の清家篤社長（元慶應義塾長）で、前施設長は慶應義塾大学神経内科の小松本悟名誉院長、現施設長は室久俊光院長です。病院は1945年の発足で、2011年に小松本先生のご尽力により全室個室の新病院に移転、2015年にJCI（Joint Commission International）認証を取得しています。栃木県広域救急医療システム二次救急医療病院指定、エイズ診療拠点病院、救命救急センター、災害拠点病院栃木県地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、栃木県脳卒中地域拠点医療機関、地域医療支援病院、認知症疾患医療センター、地域がん診療連携拠点病院、臓器提供医療機関、結核指定医療機関などの認定を受けています。一般500床（緩和ケア病棟19床、回復期リハビリテーション病棟50床）、精神40床の病床があり、診療科目は脳神経内科、消化器内科、腎臓内科、呼吸器内科、総合診療科、神経精神科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、救急科、病理診断科となっています。

脳神経内科の特徴

当院の脳神経内科は内科からあえて独立していません。このため、一般内科の入院患者さんも担当しますし、当直では小児も診療致します。脳神経内科の専門性を持ちながらも、患者さんの全身を診る医師が育ちます。カンファレンスも脳神経内科のカンファレンスに加えて内科全体のカンファレンスにも参加します。脳卒中は脳外科と役割分担しながら診療に当たっています（PSCコア施設）。

スタッフ

五十棲 一男（副院長、第一脳神経内科部長、健診センター長）

永島 隆秀（第二脳神経内科部長）

浅原 大典（医師）

稲葉 亮（医師）

土屋 智裕（医師）

松林 賢照（医師）